
地域福祉活動計画 策定委員会ニュース（第1回）

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

平成27年8月6日（木）、「第2期 地域福祉活動計画」（平成28年～32年度までの5カ年計画）の策定に向けた委員会^{*1}が開催されました。この「策定委員会ニュース」は、地域福祉活動計画の策定プロセスを関係者の皆さんに知っていただくための広報誌です。

1. 策定委員会の開催

社会福祉協議会（以下、「社協」）では法人化25周年を迎えた平成24年に上牧町における社協の役割を明確にするために住民、ボランティアや地域福祉関係団体、行政による策定委員会を組織し、「上牧町地域福祉活動計画 ～マッキーアクションプラン～」^{*2}（平成25～27年度までの3カ年計画）を策定しました。今年度はその計画の最終年度となり、これまでの計画の進捗状況やこの間の社会情勢の変化等に伴う新たな福祉課題などを踏まえた「第2期 地域福祉活動計画」を策定することとなりました。

今回の計画策定においては、行政計画である「地域福祉計画」との連携や整合性を図る目的で、21名の策定委員のうち18名が「地域福祉計画」の策定委員と兼任していただき、「地域福祉計画」の策定委員会と同日に「地域福祉活動計画」の策定委員会を開催しました。

2. 地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画^{*3}とは、社会福祉協議会が中心となり住民や地域で活躍する福祉関係者と共に、上牧町の地域福祉（誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり）の推進を目的に協力しながら策定する住民サイドの行動計画です。行政の策定する地域福祉計画とは車の両輪のような関係にあり、住民や当事者など地域の様々な関係団体がいかに地域福祉に参加していくかを考えます。

3. 第1回策定委員会

第1回策定委員会では、初回ということもあり策定委員のみなさんの紹介の後、委員長に藤井（民生児童委員会）委員、副委員長に小口（関西福祉科学大学）委員が選出されました。

その後、協議事項として①策定委員の役割と計画策定体制、②計画策定のスケジュール、③第1期計画の評価、の3点について策定委員みなさんと議論しました。

*1 策定委員会の資料や議論の詳細については、社会福祉協議会のホームページから確認できます。（<http://kamishakyo.web.fc2.com/>）

*2 策定委員のメンバーについては、ホームページより「第1回策定委員会 資料②」（以下、「資料〇〇」）の3ページを参照。

*3 「資料①」を参照。

4. 協議内容 ～あらし～

① 策定委員の役割と計画推進体制について^{*4}

第2期計画の策定にあたっては、策定委員会と作業委員会^{*5}の2つの委員会を組織しています。作業委員会では策定委員会に提出する資料の作成やヒアリング調査等の作業を行い、策定委員会では作業委員会から提出された資料等に基づき第2期計画について様々な議論を行います。

② 計画策定のスケジュールについて^{*6}

事務局においては既に4月に職員研修会を実施し、5月から現行計画の評価などの作業を開始しています。作業委員会も6月、7月とに会議を開催し、第1回策定委員会に提出する資料の作成を行いました。

策定委員会は4回開催の予定で、次回以降は第2回策定委員会が11月（検討予定：団体ヒアリングの結果報告、今日的な福祉課題、第2期計画の骨子案）、第3回が平成28年1月（検討予定：第2期計画の骨子、計画素案）、最終の第4回は平成28年3月（検討予定：計画素案修正）に開催予定です。

③ 第1期計画の評価について^{*7}

第1期計画では「つながりの希薄化」に対して「つながりで紡ぐ福祉のまちづくり」をテーマに事業を展開してきました。その結果、住民座談会から小地域ネットワークの組織化やサロン活動や見守り活動など具体的な福祉活動への進展が見られました。

このような成果を踏まえ、第2期計画では自治会区での福祉活動を上牧町における地域福祉の基礎単位と位置づけ、その基礎単位において地域住民と専門職がそれぞれ協働し、地域の福祉課題解決に向けて住民本来の力が発揮できるような環境をいかに整備していくかに焦点をあてて議論していければと考えています。

5. 主な議論と質疑

策定委員会において行われた議論や質疑については下記のとおりです。

紙面の関係上、最初に発議いただいた論点のみ掲載します。詳細については議事録をご確認ください。

- ・小口委員：地域福祉計画と地域福祉活動計画との違いについて
- ・小玉委員：地域での子育てについて
- ・木地委員：各地区の特性に応じた取り組みの重点化等について
- ・尾崎委員：介護保険（新地域支援事業）との関係、連携について
- ・井尻委員：自治会区を基礎単位とすることについて
- ・小玉委員：策定委員会での議論時間の不足について
- ・今中委員：社会福祉協議会の役割について

次回の策定委員会は、団体ヒアリングの結果報告、今日的な福祉課題、第2期計画の骨子案を議題として11月に開催予定です。

*4 「資料②」及び「資料③」の2枚目を参照。

*5 作業委員会は金田喜弘氏（佛教大学）、岡本晴子氏（奈良県社協）、事務局で構成されています。

*6 「資料③」の1枚目を参照。

*7 「資料④」を参照。